

MARUYAMA REPORT 2013

第78期 報告書

2012.10.1 ▶ 2013.9.30

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2013年9月期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2013年12月



代表取締役社長
尾頭正伸

▶ 決算ハイライト

<p>■ 売上高</p> <p>32,873百万円</p> <p>前期比 6.3%増</p>	<p>■ 営業利益</p> <p>1,718百万円</p> <p>前期比 18.7%増</p>
<p>■ 経常利益</p> <p>1,494百万円</p> <p>前期比 24.7%増</p>	<p>■ 当期純利益</p> <p>836百万円</p> <p>前期比 52.1%増</p>

CONTENTS

株主の皆様へ……………P1	株式情報……………P8
連結セグメント別の概況……………P3	会社情報……………P9
連結財務諸表……………P5	株主メモ……………P10
新製品のご紹介……………P7	

▶ 2013年9月期における事業の概況

当社グループの主力事業である農林業用機械市場全体での出荷・生産実績は、前年に対し国内、輸出向けとも増加しておりますが、国内では農業従事者の減少や高齢化、農業経費の増加もあって農家の設備投資意欲は依然として盛り上がりを欠いております。また、海外におきましては、為替が円安傾向に推移しましたが、欧州の債務危機問題等により懸念事項は拭えず、市場を巡る企業間競争は国内外とも引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、国内では、チェンソー、ハイクリブームなどの新製品を中心に、積極的な営業活動を展開することにより販売の拡大に努めてまいりました。一方、海外では、新たな海外販路の開拓と販売の拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、国内では新製品であるキャビン付ハイクリブームの売上好調などにより、国内売上高は26,491百万円(前期比4.4%増)となりました。また、海外におきましても、為替が円安傾向に推移したことなどもあり、北米、中南米およびアジア向けなどが増加した結果、海外売上高は6,382百万円(前期比14.9%増)となり、売上高合計は32,873百万円(前期比6.3%増)となりました。利益面では、売上高の増加に伴う物流費などの増加はありましたが、生産性の向上により売上総利益率が改善したこと、差益率の高い国内売上高の増加が大きかったことなどにより、営業利益は1,718百万円(前期比18.7%増)、経常利益は1,494百万円(前期比24.7%増)となりました。当期純利益は、刈払機のリコールに伴う特別損失の計上はありましたが、経常利益の増加などにより836百万円(前期比52.1%増)となりました。

▶ 2014年9月期の見通しについて

今後につきましては、国内においては来年4月の消費税率アップ、政府の農業政策の変化、TPP問題、エネルギー問題、海外では為替変動などにより、当社グループの事業を取巻く環境は大きく変動しております。

このような状況の中、当社グループは①グローバル化に対応できる体制の確立、②変化への俊敏なる対応、③品質への拘り、④連結経営の強化を重点課題として取り組み、引き続き企業体質の強化ならびに収益力の向上に努めてまいります。

次期の業績予想につきましては、連結売上高35,200百万円(前期比7.1%増)、連結営業利益1,700百万円(前期比1.1%減)、連結経常利益1,400百万円(前期比6.4%減)、連結当期純利益850百万円(前期比1.6%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
第 2 四 半 期 業 績 予 想 (2014年9月期)	15,900	200	100	60	-
通 期 業 績 予 想 (2014年9月期)	35,200	1,700	1,400	850	4

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

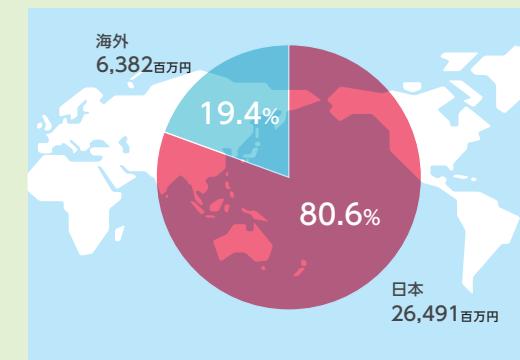
	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用機械	<p>農林業用機械 75.8% 売上高 24,899百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2011/9</td><td>22,704</td><td>1,945</td></tr> <tr><td>2012/9</td><td>22,744</td><td>1,716</td></tr> <tr><td>2013/9</td><td>24,899</td><td>2,002</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2011/9	22,704	1,945	2012/9	22,744	1,716	2013/9	24,899	2,002	<ul style="list-style-type: none"> 噴霧機 散布機 刈払機 チェーンソー その他 	<p>売上高(前期比) 9.5%増</p> <p>営業利益(前期比) 16.7%増</p> <p>国内におきましては、新製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。一方、海外におきましては防除機が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は24,899百万円(前期比9.5%増)、営業利益は2,002百万円(前期比16.7%増)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2011/9	22,704	1,945														
2012/9	22,744	1,716														
2013/9	24,899	2,002														
工業用機械	<p>工業用機械 14.8% 売上高 4,875百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2011/9</td><td>5,190</td><td>600</td></tr> <tr><td>2012/9</td><td>4,995</td><td>680</td></tr> <tr><td>2013/9</td><td>4,875</td><td>986</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2011/9	5,190	600	2012/9	4,995	680	2013/9	4,875	986	<ul style="list-style-type: none"> 工業用高圧ポンプ 高圧洗浄機 	<p>売上高(前期比) 2.4%減</p> <p>営業利益(前期比) 45.1%増</p> <p>国内におきましては、77期の復興需要の反動などにより、洗浄機が減少いたしました。一方、海外におきましては、為替が円安傾向に推移したことなどもあり、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加いたしました。国内の減少を補うまでには至らず、国内外の工業用機械の売上高合計は4,875百万円(前期比2.4%減)、営業利益は986百万円(前期比45.1%増)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2011/9	5,190	600														
2012/9	4,995	680														
2013/9	4,875	986														
その他の機械	<p>その他の機械 8.8% 売上高 2,904百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2011/9</td><td>2,629</td><td>48</td></tr> <tr><td>2012/9</td><td>2,969</td><td>75</td></tr> <tr><td>2013/9</td><td>2,904</td><td>△99</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2011/9	2,629	48	2012/9	2,969	75	2013/9	2,904	△99	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 防災関連機器 環境衛生用機械 その他 	<p>売上高(前期比) 2.2%減</p> <p>営業損失(前期比) (前期は営業利益) 75百万円</p> <p>77期の消火器の更新需要の反動などにより、消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は2,904百万円(前期比2.2%減)、営業損失は99百万円(前期は営業利益75百万円)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2011/9	2,629	48														
2012/9	2,969	75														
2013/9	2,904	△99														
不動産賃貸他	<p>不動産賃貸他 1.5% 売上高 508百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年次</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2011/9</td><td>457</td><td>244</td></tr> <tr><td>2012/9</td><td>450</td><td>237</td></tr> <tr><td>2013/9</td><td>508</td><td>262</td></tr> </table>	年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2011/9	457	244	2012/9	450	237	2013/9	508	262	<ul style="list-style-type: none"> 不動産賃貸 その他 	<p>売上高(前期比) 13.0%増</p> <p>営業利益(前期比) 10.6%増</p> <p>不動産賃貸他の売上高は508百万円(前期比13.0%増)、営業利益は262百万円(前期比10.6%増)となりました。</p>
年次	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2011/9	457	244														
2012/9	450	237														
2013/9	508	262														

※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

地域別の売上高の状況



売上高の地域別構成比



▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2012年9月30日現在)	当期 (2013年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	20,175	22,568
固定資産	10,417	11,380
有形固定資産	7,578	7,855
無形固定資産	3	48
投資その他の資産	2,835	3,476
資産合計	30,593	33,948

Point
①

Point ① 資産合計

当連結会計年度末における資産総額は33,948百万円となり、前連結会計年度末より3,355百万円増加いたしました。これは、固定資産における繰延税金資産の減少はありましたが、期末日の時価の上昇などに伴う投資有価証券の増加、流動資産の現金及び預金、たな卸資産の増加などによるものです。

Point ② 負債合計

負債合計は20,221百万円となり、前連結会計年度末より1,907百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金の減少はありましたが、電子記録債務が増加したことなどによるものです。

Point ③ 純資産合計

純資産合計は13,726百万円となり、前連結会計年度末より1,447百万円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金および利益剰余金の増加などによるものです。

Point
②

Point
③

(単位:百万円)

科目	前期 (2012年9月30日現在)	当期 (2013年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	11,320	13,426
固定負債	6,993	6,795
負債合計	18,314	20,221
純資産の部		
株主資本	12,442	13,129
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	3,417	4,105
自己株式	△151	△152
その他の包括利益累計額	△163	597
純資産合計	12,278	13,726
負債及び純資産合計	30,593	33,948

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2011年10月1日～ 2012年9月30日)	当期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)
売上高	30,927	32,873
売上原価	22,508	23,787
売上総利益	8,418	9,085
販売費及び一般管理費	6,970	7,367
営業利益	1,448	1,718
営業外収益	154	171
営業外費用	404	395
経常利益	1,198	1,494
特別利益	86	2
特別損失	64	62
税金等調整前当期純利益	1,221	1,434
少数株主損益調整前当期純利益	550	836
当期純利益	550	836

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2011年10月1日～ 2012年9月30日)	当期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	336	2,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△713	△1,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△391
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△768	992
現金及び現金同等物の期首残高	2,837	2,068
現金及び現金同等物の期末残高	2,068	3,061

Point
④

Point ④ 現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度と比べ、投資活動は有形固定資産の取得による支出の増加等により減少いたしました。また、財務活動に関しては、社債の発行による収入が増えたため増加いたしました。しかしながら、営業活動では、たな卸資産の増加はありましたが、税金等調整前当期純利益および仕入債務が増加したことにより、当連結会計年度の現金及び現金同等物は前連結会計年度と比べ992百万円増加いたしました。

▶ 連結業績の推移

●売上高



●営業利益



●経常利益



●純利益



●総資産・純資産



●1株当たり純資産・自己資本比率



高性能ステレオスプレーヤー
SSA-Z500

コンパクトボディでありながら高性能のステレオスプレーヤーSSA-Z500を発売いたしました。Zシリーズで好評の倍速巡回機能を搭載し、片ブレーキを踏むことなく小巡回が可能となっており、オペレーターの疲労を軽減することができます。



バッテリー動噴
MSB1100Li・MSB1500Li

リチウムイオンバッテリー搭載のバッテリー動噴を発売いたしました。

新型スイングタンク機構で、常に背中にフィットした状態で作業が可能です。また、ユニフローポンプを搭載し、圧力はダイヤルで無段階調整をすることができます。



フルキャビンハイクリブーム
BSA-650C・BSA-950C

業界初、フルキャビンハイクリブームを発売いたしました。全面ガラス張りのキャビンで、視界良好なうえ、農薬被ばくからオペレーターを守ります。また、エアコンも標準装備のため、フルシーズン快適な環境にて防除作業をすることができます。

発売以来、お客様から大変ご好評をいただいております。

今後もお客様に満足していただける製品の開発・製造に努めてまいります。



▶ 株式の状況

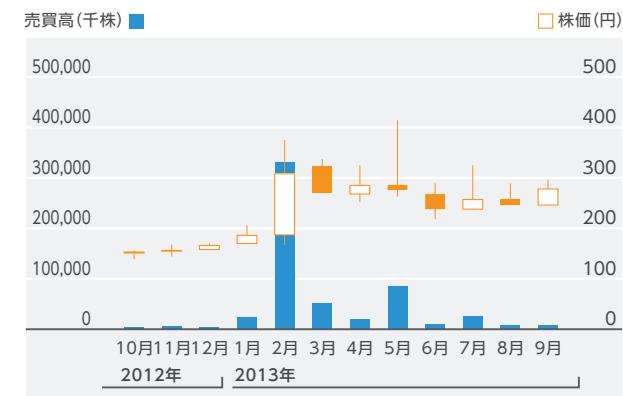
発行可能株式総数 139,061,000株
発行済株式の総数 50,293,328株 (自己株式895,962株を含む)
株主数 6,425名

大株主(上位10名)

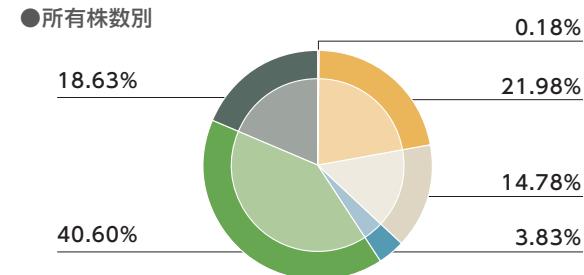
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	2,100	4.25
農林中央金庫	2,052	4.15
株式会社千葉興業銀行	1,625	3.29
みずほ信託銀行株式会社	1,400	2.83
丸山製作所取引先持株会	1,098	2.22
クレディスイスグループエスエーオンビノフオブクライアント	1,090	2.21
株式会社クボタ	954	1.93
日本証券金融株式会社	806	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	796	1.61
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	767	1.55

(注)1. 持株比率は自己株式(895,962株)を控除して算出しております。
2. 当社は、平成23年8月9日開催の取締役会において、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議し、平成23年9月2日から平成23年9月7日にかけて資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式524,000株を取得しております。なお、平成25年9月30日現在において信託E口が所有する当社株式524,000株を自己株式数に含めております。

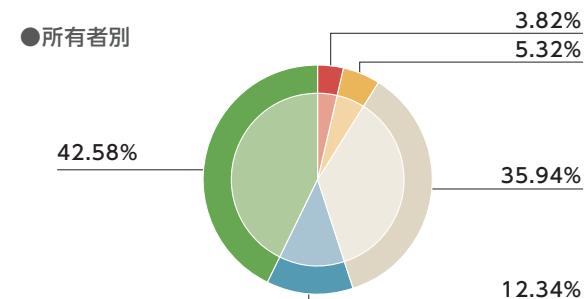
▶ 株価および株式売買高の推移



▶ 株式の分布状況



区分	株主数	株数
1千株未満	595名	89,064株
1千株以上10千株未満	5,289名	11,052,245株
10千株以上50千株未満	453名	7,433,774株
50千株以上100千株未満	30名	1,926,340株
100千株以上1,000千株未満	51名	20,052,723株
1,000千株以上	6名	9,367,220株



区分	株数
外国法人等	1,924千株
証券会社	2,677千株
金融機関	18,078千株
その他国内法人	6,207千株
個人その他	21,407千株

▶ 会社の概要 (2013年9月30日現在)

商号	株式会社丸山製作所
英文名称	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
海外関係会社	マルヤマU.S., INC.、マルヤマ（タイ）CO., LTD.、丸山（上海）貿易有限公司
従業員数	510名
グループ従業員数	900名
工場	千葉工場、東金第二工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業所	北海道、秋田、北東北、南東北、福島、新潟、甲信、茨城、北関東、千葉、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、四国、福岡、熊本、南九州

▶ 役員の状況 (2013年9月30日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭正伸	
専務取締役	鎌倉利博	管理本部長
常務取締役	杉本淳一	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	遠藤茂一	営業本部長
取締役	松田一郎	量産品事業部長
取締役	山田克彦	品質ものづくり統括部長
取締役	石村孝裕	営業推進統括部長
取締役	内山剛治	経営企画室長
常任監査役（常勤）	砂山晃一	
監査役	岩田眞郷	
監査役	土岐敦司	
監査役	税所正明	

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
 利益配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 9月30日
 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。

定時株主総会 12月
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 お問い合わせ先、郵便物送付先

〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行 証券代行部
 TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）

未払配当金の受領 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店

単元株式数 1,000株

公告方法 電子公告（当社ホームページ<http://www.maruyama.co.jp>）
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

単元未満（1株から999株）株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。
 詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例（1,600株ご所有の場合）




見やすく読みまぢがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
森林管理協議会 (Forest Stewardship
Council®) で認証された適切に管理さ
れた森林からの原料を含む、FSC認証
紙を使用しています。



環境にやさしい植物
油インキを使用して
印刷しています。